



二江小学校
(五和町)

▲地域の人の前で音読の練習をする子どもたち

『分かった』『使えた』すすんで学ぶ ふたえっ子の育成

毎月第2・第4水曜日に、二江まちづくり振興会・防犯ボランティア部会の協力により、子どもたちが行う音読や漢字の書き取りなどの学習支援をしていただいています。このように、地域の人たちの協力を得ながら、低学年からの基礎学力向上を目指した研究に取り組みます。



佐伊津小学校
(佐伊津町)

▲自転車の正しい乗り方を教わる児童

みずか 安全教育について自ら考え、実践する 佐伊津っ子の育成

子どもたちに安全についての知識や技能を確実に習得させ、自ら考え、判断する力を身につけ、地域との連携を図りながら日常生活の中で実践できる児童の育成を目指します。また、校舎内や地域での安全に目を向け、危険予測・危険回避の能力の習得に取り組みます。



栖本中学校
(栖本町)

▲美術の授業で友だちの作品のよさを出し合う生徒

思考力・判断力・表現力を 育成するための学習指導の工夫

「確かな学力」の育成に向け、「思考力・判断力・表現力」の育成を目指して研究を進めます。小規模校でも、少人数で活発な意見交換のできるワークショップ型の授業のほか、五教科大会や集中学習会など“Sumoto, Study, Step up → Smile”^{くみう}につながる取り組みを行います。



御所浦中学校
(御所浦町)

▲サツマイモの植え付けをするようす

「豊かな心」を備えた生徒の育成

地域の人たちと一緒になって野菜を栽培するなど、豊かな自然、人情味豊かな地域とのふれあいのなかで得られた体験をもとに、心を揺り動かす道徳授業の実践に取り組みます。また、自分の考えを述べ合う・伝え合うという、意見交流の力をつける指導についても研究を行います。

下段右から江浦むつえ委員、濱崎献作委員長、上原恵美子委員、上段右から黒鶴進治教育委員長、職務代理者、松中美恵子委員、岡部紀夫教育長。



教育委員会委員に2人が就任

教育委員長に濱崎献作委員、教育長に岡部紀夫委員を選出

市教育委員会委員6人のうち、2人が欠員となっていました。市議会の同意を経て(8ページ「議会報告」を参照)、岡部紀夫氏(亀場町亀川)と上原恵美子氏(本渡町本戸馬場)が7月1日に就任しました。任期は平成26年6月30日までの4年間。これに伴い、7月1日に教育委員会臨時会を開き、教育委員長に濱崎献作委員、教育委員長職務代理者に黒鶴進治委員を選出。また、教育長については岡部紀夫委員が互選されました。

【問い合わせ先】 本庁(別館)・学校教育課教育企画係 ☎1111内線2507

教育の「質」、さらなる向上を目指して

～市教育委員会指定の研究推進校を紹介～



市教育委員会では、学校や地域の教育的な課題と関係つけた教科や道徳、特別活動などの研究を通して、児童・生徒の「考える力」「表現する力」「みずから追究する力」などの育成を図り、その成果を普及することを目的として、毎年度市内の各小・中学校の中から数校を“研究推進校”として指定しています。今号の教育委員会だよりでは、今年度同推進校に指定された小・中学校の研究内容をそれぞれ紹介します。



本渡南小学校
(川原町)

▲自分の考えを発表する児童

主体的に学び、表現する南っ子の育成

国語での学習を通して、書く、話し合う言語活動や読みの知識・技能の習得と活用などの研究に取り組みます。また、公開授業では低・中学年は説明的な文章、高学年は文学的な文章を使った授業を予定しています。大切にしたい日々の授業に、いかすことができる内容の授業を目指します。



福連木小学校
(天草町)

▲子どもたちだけで学習をするようす

生きてはたらく読解力の育成

国語での学習を中心にして、児童の表現に成果を求める読解力の育成と、小規模校における複式授業の効果的な学習の進め方について研究を行います。自分の知っていることや経験したことと重ねて考え表現する「生活型表現」、児童の主体的な学習のあり方について研究します。



浦和小学校
(有明町)

▲地域の人たちにお世話になってレタスの収穫

宝島“天草”を知り、ふるさとを愛する 浦和っ子の育成

野菜やみかんの収穫体験など、校区内での地域学習や体験を通して、郷土“天草”のよさを実感し、誇りを持って生きることができる児童の育成を目指します。また、御所浦町の“とんとこ漁”など、天草全体を対象にした体験学習プログラムの開発についても取り組んでいきます。